

2021 年 3 月 10 日

## 学生党员として「総選挙躍進特別期間」と新歓成功に力を尽くそう

### 1. コロナ危機のもとで探求してきた全国のと里克みを学びあおう

◇昨年 3 月後半にコロナ感染症が急拡大し、4 月、大学も学生生活も一変しました。

◇学費軽減を求める学生のオンライン署名など学生の連帯が始まり、民青同盟が中心となった学生むけの食料支援が大きく発展しています。

◇4 月には新入生を迎えます。新入生も在校生も不安を抱き、新しい学年を迎えます。コロナ危機で苦労しつつ、学び、活動を探求してきた全国のと里克みを交流し、学びあおう。

### 2. 苦難をもたらしている自民党政治の歪みと社会的連帯を広げる食料支援

(1) 学生むけの食料支援は、全国 45 都道府県で開催され、3 万 7 千人の学生が利用。多くの学生と結びつき、ボランティア、スタッフなどに登録し、ともに活動している。

(2) 食料支援は、今日の学生が置かれた困難を可視化した。各地のアンケートや対話では、深刻な実情が寄せられている。大学生協連の学生生活実態調査（3 月 8 日発表）でも。

(3) こうした困難は、そもそも自民党政治の歪みがもたらしたもの。

①アルバイトができなくなると途端に生活が困窮し、食費さえまならない事態——異常な高学費で、学費と生活を支えるため奨学金とアルバイトに頼らざるを得ない。

②異常な高学費は、1970 年代以降、自民党政治の「受益者負担論」のもとで、毎年のように入学金と授業料の値上げが繰り返された結果。本来、学生生活を支えるはずの奨学金制度が 1990 年代後半に改悪され、多額の借金を押しつけるものに。

(4) 「自己責任論」もふりまかれたが、コロナ危機は、客観的にアルバイトができず、「自助」では解決できないことも明らかに。社会や政治の本来の役割が問われるようになった。

◇民青の食料支援の活動は、社会的連帯を培う画期的な役割を發揮している。「自己責任論」から一歩抜け出し、ボランティアやスタッフとして参加し、社会的連帯をはぐくんでいる。

◇コロナ危機は、青年・学生の大きな変化をもたらし、それは全国どこでも生まれている。「自己責任論」を乗り越えようとしている青年・学生の変化は一過性ではないもの。

### 3. 総選挙で政権交代をはたし、学生の願いを実現しよう

◇当面する総選挙で菅自公政権を終わらせ、野党連合政権を実現する。日本共産党を含む政権の実現をめざすのは初めてのこと。これが実現できたら、学生の要求は多くが実現する。

◇「新しい日本をつくる 5 つの提案」——「新自由主義から転換し、格差をただし、暮らし・家計応援第一の政治をつくる」「地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる」「ジェンダー平等社会の実現」など、学生の願いにこたえるもの。学生分野の問題も、

「大学等の学費を半減し、本格的な給付奨学金を創設します」と提起。

◇菅自公政権は、コロナ感染症対策でも、学生の勉学と生活を守る点でも、無為無策。野党共闘の勝利と日本共産党の躍進で、政権交代を果たし、希望ある新しい政治をつくろう。

#### 4. 「総選挙躍進特別期間」を学生党员として挑戦しよう

##### ①綱領と科学的社会主義を学ぼう

◇食料支援など多くの学生と対話になっている。コロナ危機のもと、日本社会はこのままでいいのか、資本主義のままでいいのか模索し、社会主義への関心も寄せている。日本共産党綱領が学生の模索にこたえる希望となっている。

##### ②食料支援、新歓——学生の苦難と願いにこたえたとりくみをすすめよう

◇食料支援にとりくみ、新入生をはじめすべての学生を視野に大いに知らせ、ボランティアをよびかけよう。

◇履修相談やコロナ禍のもとで学生生活をどう送るかなどを考えるとりくみ、知的関心にこたえた活動、学費値下げのたたかいなどをすすめよう。

##### ③総選挙で、政権交代、日本共産党の躍進に、対話に踏み出そう

◇選挙を通じて政治を変える——党綱領の大命題。選挙活動は初めての方もいるが、今度の総選挙は、政権交代をめざすという党も初めての挑戦。みんなで挑戦しよう。民青班で「日本共産党と一緒に政治を変えよう決議」をあげよう

##### ④学園で民青の仲間を迎え、党支部をつくることに挑戦しよう

◇苦難軽減で結びついた学生を民青同盟に迎え始めている。新歓は民青拡大の大きな機会。結びついた新入生、学生に、思いきって民青への加盟をよびかけよう。

◇入党をよびかけよう。綱領をいっしょに学び、行動する仲間を、党に迎え、ともに総選挙で政権交代を果たし、新しい日本をつくろう。

◇「しんぶん赤旗」日刊紙、電子版の学生向け割引を5月からスタート。4月に「赤旗」電子版の「青年・学生応援期間」を実施します。「赤旗」を読もう。

以 上